

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	3
会計	款	項
一般	10	5

事業名	文化振興諸経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	2
施 策	3 心豊かなまち 3-2 文化のかおるまちをつくる 3-2-1 多様な文化・芸術活動の支援	課名 係名	社会教育課 生涯学習係		
主要施策	①芸術・文化団体、指導者の育成				

(1) 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化団体（文化協会他）	目的（対象がどのような状態になっているか）	文化団体の自主・自立を促し育成することで、東員町の文化振興を推進する。
事業内容	町が委託する公民館講座をはじめとする、各種文化振興に関する事業を実施する。			

(2) 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
1	公民館講座受講者数	245	218	266	人	↑	300
2							
3							
4							
5							
				平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（予算）	
全体事業費（千円） A+B				8,816	9,102	9,305	
財源内訳	直接事業費A			5,780	6,066	6,269	
	うち一般財源			5,734	5,947	6,217	
人件費（千円） B				3,036	3,036	3,036	
内訳	一般職員（人・千円）	0.46	3036	0.46	3036	0.46	3036
	臨時職員（人・千円）	0	0	0	0	0	0

(3) 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	申込方法等を再考し、気軽に応募ができる仕組みを構築していく。	③取組の課題	幅広い層に关心を持つてもらえる内容を常に考える必要性がある。
②R1年度に実施した取り組み	時代のニーズに合うような講座の開設を実施した。（対象若年層他）	④今後の改善計画	時代のニーズに合うような講座の開設を進める。